



年月日	平成 25 年 12 月 27 日
発行	防災対策課
所属長	課長 藤川 浩志
電話	06-6489-6165

1 津波等一時避難場所の追加指定について

平成 26 年 1 月 1 日付けで、新たに民間施設 1 施設を津波等一時避難場所に追加指定します。



施設名	所在地	収容人数
神東塗料株式会社 厚生館	南塚口町 6 丁目 10-73	400

※12 月 1 日までに 270 施設 (183,870 人) を指定しており、今回の追加指定をもって合計 271 施設 (184,270 人) となります。

2 兵庫県南海トラフ巨大地震津波浸水想定図について

平成 25 年 12 月 24 日、兵庫県が南海トラフ巨大地震津波浸水想定図を発表しました。

兵庫県が公表した津波浸水想定図は、国の想定で用いたデータを基本とし、県や市等が保有する最新のデータを反映し、

- (1) 液状化による沈下あり、
- (2) 津波が堤防を越流した場合に破堤、
- (3) 防潮門扉は開放 (自動閉鎖、常時閉鎖しているものを除く)

という条件のもと作成されており、尼崎市における津波高、到達時間及び浸水面積は以下の表のとおりです。

	県想定 (平成 25 年 12 月発表)	国想定 (平成 24 年 8 月発表)
最高津波水位	4.0 メートル	5 メートル (小数点第 1 位切上げ)
最短到達時間	117 分	113 分
浸水面積	981 ヘクタール	210 ヘクタール

今回、兵庫県が発表した数値は、国が平成 24 年 8 月に発表したものに比べ、津波高が低く (5 メートルから 4 メートルに)、到達時間が遅く (113 分から 117 分に) なりましたが、浸水面積が 210 ヘクタールから 981 ヘクタール (約 4.7 倍) に広がっています。

尼崎市にお住まいの方やお勤めの方には、今一度ご自身のお住まい、お勤めの地域での浸水深などをご確認いただき、いざというときの対策 (避難行動や備えなど) の参考としていただきますようお願いいたします。

なお、「津波浸水想定図」は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、実際の災害では、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる可能性がありますので、「着色されていない区域は安全だ」と油断しないことが必要です。

本市としては、この想定結果を「尼崎市地域防災計画」に反映し、津波対策を進めてまいります。

今回の公表内容の詳細は兵庫県のホームページ「南海トラフ巨大地震津波浸水想定図」をご覧ください。

(なお、人的・建物被害想定についても、今年度内に兵庫県より発表される予定です。)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/nannkaitorahukyodaizisinntunamisinnisouteizu.html>

3 「1.17は忘れない」地域防災訓練の実施について

(1) 「地域防災訓練」

ア 訓練の目的

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、また東日本大震災での甚大な被害を踏まえ、市民一人ひとりが大震災を忘れず、将来の災害への備えの充実を図り、「ひょうご安全の日」である1月17日を中心として1月中の減災月間に地域住民と学校が連携した防災訓練を実施します。

イ 実施日 平成26年1月17日（金） 13時30分～15時頃（小雨決行）

ウ 地域での実地訓練場所

- ①メイン会場 武庫地区(南武庫之荘中学校)
- ②地区会場 中央地区(中央中学校)、小田地区(小田北中学校)、大庄地区(大庄北中学校)
立花地区(立花中学校)、園田地区(園田東中学校)
- ③その他の会場 市内の残り小・中学校及び特別支援学校 57校

(2) 「ひとり人がはじめメール尼崎市一斉防災訓練」

今年度は、地域での実地訓練と併せて「ひとり人がはじめメール尼崎市一斉防災訓練」実施します。

ア 訓練の目的

市内全域のNTTドコモ・au・ソフトバンクの携帯電話に対してエリアメール（緊急速報メール）を配信し、災害初期行動について、災害発生時の情報をもとに、普段から考えてもらうための「きっかけ」作りを行い、防災意識の高揚を図ろうとするものです。

※メールで一斉に地震発生情報を受け、自分の身の安全を守ることや、その後、どう行動するかなどを考え、身を守る、避難するなどの具体的な行動について、「ひとり人がはじめよう」という訓練です。

イ 実施日 平成26年1月17日（金） 13時30分

ウ 実施場所 市内全域

エ 情報発信と意見募集

訓練の詳細について、ツイッターを使って情報発信を行っていきます。また、取り組みについてのご意見も募集します。エリアメール、緊急速報メールを受信して、当日みなさんがとられた訓練行動や、メールが届いた・届かなかったなど、「ひとり人がはじめメール尼崎市一斉防災訓練」の状況やご意見を、eメールで受け付けるほか、お持ちのtwitterアカウントから、ハッシュタグ #はじめメールを入れてツイートしてください。

「ひとり人がはじめメール尼崎市一斉防災訓練」twitter URL

⇒ http://twitter.com/ama_hajimail

「ひとり人がはじめメール尼崎市一斉防災訓練」eメール アドレス

⇒ ama-hajimail@city.amagasaki.hyogo.jp



4 地域の防災訓練について

(1) 堂松南自主防災会防災訓練（11月30日（土） 8時30分～10時15分 200名参加）



避難訓練（七松小学校校舎3階）



通報訓練



消火訓練（バケツリレー）



消火訓練（粉末消火器）



救護訓練



避難訓練（フェスタ立花）

(2) 潮江自主防災会防災訓練（12月1日（日） 9時30分～12時 220名参加）



避難訓練（キューズモール入口）



避難訓練（キューズモール7階）



災害用緊急トイレ設置訓練



飲料水用耐震貯水槽給水栓設置訓練



備蓄用品等の説明



消防団による耐震性防火水槽からの放水

(3) 立花三反田自主防災会防災訓練 (12月1日(日) 10時~12時 105名参加)



避難訓練 (若松公園)



通報訓練



消火訓練 (粉末消火器)



消火訓練 (バケツリレー)



救助訓練 (コミュニティ防災資機材を活用)



救護訓練 (三角巾)

(4) 生島西自主防災会防災訓練（12月8日（日） 8時45分～11時15分 200名参加）



避難訓練（北部防災センター4階）



防災意識高揚訓練



コミュニティ防災資機材取扱い習得訓練



防災テント組立て訓練



救急救命訓練



炊き出し訓練（かまど、大鍋等を使用）

5 気仙沼市への支援について

(1) 職員の派遣状況

○派遣期間…平成25年4月1日～平成26年3月31日（1年）

○派遣人数…土木職2人（建設部都市計画課土地区画整理室 所属）

土木職1人（建設部下水道課 所属）

(2) 支援に係る現状について

現在、土地区画整理室所属の職員については、土地区画整理事業を担当し、鹿折地区、南気仙沼地区の事業計画や換地業務など、組織の中心となって作業を行っています。

また、下水道課所属の職員については、下水道管渠や終末処理場・ポンプ場等下水道施設を担当し、災害復旧業務を行っています。

以 上